

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年11月28日(月)～12月4日(日)〔平成23年第48週〕の感染症発生状況

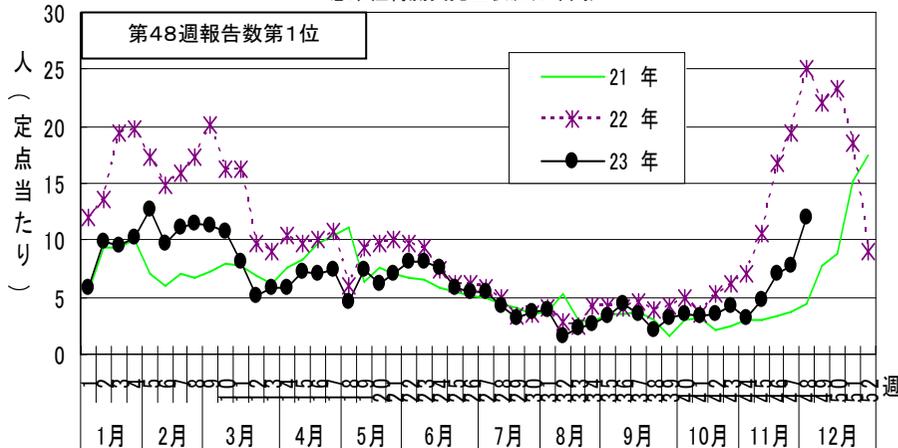
第48週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎は定点当たり12.03人と前週(7.82)より患者報告数は大幅に増加しており、今後も患者報告数が大幅に増加することが推測されますので、引き続き手洗いなどの予防対策が重要です。

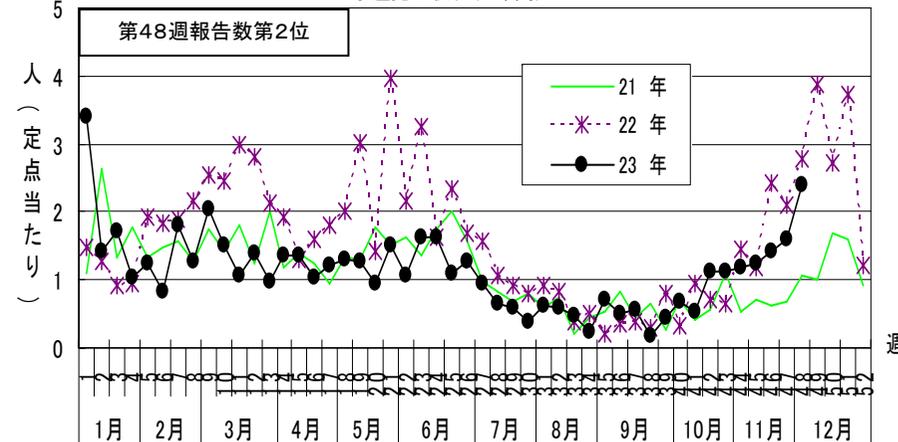
5週連続でマイコプラズマ肺炎の報告が続いています。例年比べると非常に高いレベルでの推移となっているので、今後注意が重要です(全国的にも非常に高いレベルです)。

つつが虫の発生届が1件(感染地域:川崎市)及びE型肝炎の発生届が1件(推定感染経路:シカ肉)ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



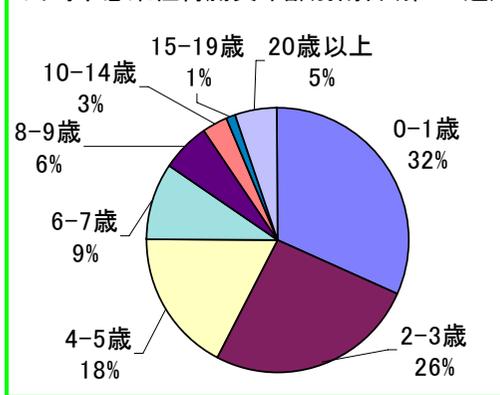
## 特に乳幼児は気をつけて！！～感染性胃腸炎患者急増～

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こり、主に下痢やおう吐などの症状がでます。秋から冬にかけて流行するものの多くはウイルスによって発症し、特にこれからの時期はノロウイルスやロタウイルスを原因とするものが増えてきます。

川崎市内においては、左のグラフのとおり、感染性胃腸炎の患者報告数が大きく増加しています。さらに、例年通りではありますが、就学前までの0～5歳の年齢群で感染性胃腸炎患者全体の約76%を占めております。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、通常であれば2～3日で回復しますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では重篤な症状になることがありますので注意が必要です。

川崎市感染性胃腸炎年齢別割合(第48週)



### 感染予防方法

手洗いが基本です。その他に、患者さんの便やおう吐物は乾燥しないうちに早めに片付け、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)などで消毒してください。

### かかってしまったら…

下痢やおう吐により体内の水分を多く失いますので、水分補給はこまめに行いましょう。水分を受け付けないときは、医療機関を受診するようにしましょう。特に、乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいので注意が必要です。

発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター(保健所)  
(問い合わせ先) 044-200-2412